

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 45 回 理事会

平成 27 年 4 月 8 日

出席理事：山根・花田・田村・谷津・大谷・高橋・角田・中嶋・中西・中山

監事：高橋

委任：深町、石井、影山、斉藤（孝）、斉藤（勝）、高田、中野、松本、八木原

欠席：

議事録

会長報告：

次期当会理事選出選挙への現理事からの立候補、ありがとうございました。

中西理事は来季より監事としてお願いしたいと思う。新理事も数名就任予定。

来月の総会と市民公開講座、7月の学術大会に向けてご協力をお願いします。

事務局報告：

現時点での会員数 255 名。賛助会員の群馬 ME テクニカルサービスが株式会社 GI に社名変更した。この点は総会誌も変更したものを記載する。

今年度年間予定表を配布。変更がある場合は、修正のうえ理事 ML にて配信予定。

先月の理事会にて議題提示されたメール便について、佐川、クロネコ等料金確認を行ったが、現状のクロネコヤマトの新体制である DM 便が最も有力と思われた。

料金は通常のたよりを想定し、A4 サイズ 1cm 厚までが 76 円（税抜）。

新入職に伴い、技士会への入会案内をお願いしたい。

4 月 4 日、福島県郡山市において、福島県臨床工学技士会、北関東 3 県技士会合同での災害対策交流会に会長と出席。毎年 4 月での開催を予定する形となる。

次期理事選において、理事 20 名、監事 2 名の立候補あり。その為選挙は行わず、5 月 31 日の総会で承認を得られるよう、委任状の回収に徹したい。

会計報告：

決算報告書が完成した。関東臨床工学会で使用したスタッフジャンパーや、キッズセミナーその他の支出を当会より算出した。その為、関東臨床工学技士協議会に対し、2 万円ほど

還付金が出せる形となった。

大会報告：

機器展示、広告掲載、一般演題等締め切りを過ぎたが、目標数に達していない。

展示や広告でまだお願いできるメーカーには、協力を依頼したい。

教育講演は埼玉医科大学病院の山下芳久先生に、大会長招聘講演は日本臨床工学技士連盟理事長の肥田泰幸先生に依頼した。

タイムテーブル案は資料の通り。ポスターデザインは至誠堂へ依頼中。

ミニセミナーについては午前午後 2 部ずつ、血液浄化関連とデバイスプログラミングで企画。

大会誌原稿は 5 月末で締切としたい。

広報委員会：

総会誌の原稿募集中。

今回の総会誌で、細則にスタッフ日当についての追記を行う。

5 月 7 日を目標に発送予定。同封するものがあれば、近日中に広報まで連絡を。

組織検討委員会：

5 月 31 日（日）、拝年齢測定についての市民公開講座を行う。日本光電に要確認。

協賛メーカー、ドクターが講師のため、ドクターについては謝礼金 5 万円とする。新聞社その他報道機関へも連絡を。

学術委員会：

5 月 31 日（日）、呼吸部会・安全対策合同で勉強会を予定している。内容としては在宅酸素、医療ガスについて。

安全対策委員会：

特になし。

循環・呼吸部会：

年末前に勉強会を予定している。内容は未定。

代謝・保守部会：

特になし。

Y・ボード：

3月14日（土）、日本臨床工学技士会事務局において開催された、関東甲信越はちどりネットワーク会議に参加。関東臨床工学会でのキッズセミナーについての報告を行った。

6月2日のCEの日に因んだ活動として、ゴミ拾い、TV中継に入り込む意見等が出されたが、当会でも群馬県のクリーン作戦に申し込みを検討したい。

新メンバーについて、理事関連の施設で活動していただける方を募集中。

その他：

選挙について、透明性が無いと指摘あり。締め切りの時点で立候補者の一覧を会員に対して配布する必要があると思われる。

大会長の公募をホームページに掲載する。

事務所として一つの部屋を設けるのも良いのではとの意見あり。他県技士会の例を参考にする。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 47 回 理事会

平成 27 年 5 月 27 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・大谷・景山・高田・高橋・角田・中嶋・中西・
中野・中山・松本

監事：高橋

委任：石井、影山、斉藤（孝）、斉藤（勝）、八木原

欠席：

議事録

会長報告：

今後の理事会開催場所について、前橋市民文化会館の修繕もあるため他地区での開催も踏まえて検討していきたい。

高気圧環境潜水医学会が 11 月に前橋にて開催される。群大の中山氏が技士会との連絡係となっており、技士会としてのサポートも含め情報提供を行いたい。

次期大会長は公募の結果応募が無かったため、前橋赤十字病院の宮崎氏へ依頼予定。

先日参加した日本臨床工学会にて、日本臨床工学技士会のマスコットキャラクターが「シープリン」に決定した。

総会では特に問題は無かったが、未収金が 200 万円ほどあるとの報告があった。

e-ラーニングについて、今後は DVD の貸し出しは行われなくなることとなった。

群腎協の総会について、参加できる方は意思表明をお願いしたい。

災害対策委員会設立について、県の行政や透析懇話会と技士会との情報共有のため、透析懇話会の先生との相談も必要と思われる。

日本臨床工学会での全国代表者会議について、代議員や技士会組織についての報告があった。

当会の総会について、終日参加可能なスタッフについては昼食配布を行う。会計資料について、予算額と決算額の併記をするようにと前回指摘があった。

事務局報告：

本時点での会員数 254 名、賛助会員は 38 社のまま。

総会の委任状の回収状況について、本日時点で参加表明 16 名、委任 113 名となっている。平成 26 年度末の会員数 255 名に対し、参加委任合計が 128 名を超えているため、今回の総会は欠席者なしの場合、成立予定となった。

先日、クロネコヤマトの新体制である DM 便にて発送手続きを行ったが、特に目立った問題はなかった。

今年度新規入会者は本日までに 1 名。新入職の方には技士会への入会を勧めるよう啓発活動をお願いしたい。

角田理事より指摘のあった当会ホームページへの情報掲載において、株式会社至誠堂の長岡氏と面談を行った。セミナー情報は他の情報と混ざらないようお願いした。

5 月 19 日（火）日本臨床工学技士連盟より関東臨床工学技士協議会へ依頼のあった「あぜもとしょうご出版記念パーティー」へ参加。放射線技師連盟より来年夏の参議院選挙に出馬予定の方の応援という形で、日本臨床工学技士会、東京都臨床工学技士会、神奈川県臨床工学技士会、当会より参加。

5 月 22 日～24 日まで、第 25 回日本臨床工学会へ会長と参加。22 日に開催された関東臨床工学技士協議会会議にて、第 5 回関東臨床工学会の会計報告を会長より報告していただいた。監査は今年 9 月に開催予定の第 6 回関東臨床工学会までに終了させる予定。今回の協議会会議において、第 6 回大会で予定されている全国協議会パネルディスカッションに関東代表で田村が発表予定。第 7 回大会の神奈川県は、現時点では箱根開催を予定しているが、大涌谷周辺の状況によっては、箱根での開催が危ぶまれることが懸念された。

会計報告：

7 月の大会関係で、未入金企業が数社。催促を進めていきたい。

今年度予算と昨年度の交通費を受け取っていない理事の方は、今日中に受け取ってください。

大会報告：

現時点で機器展示 14 社、広告 14 社。可能な限りもう少し増やせるよう努力したい。

一般演題は 8 演目。分野ごとに振り分けを行う。

教育講演は埼玉医科大学の山下芳久先生に、在宅血液透析分野での講演を依頼。

連盟の内容まで講演予定。

ポスターは至誠堂へデザインを依頼中。

ミニセミナーについて、午前午後 2 部ずつ、血液浄化関連とデバイスプログラミングの内容で計画中。血液浄化関連については、東レとニプロに依頼済み。参加希望者は現在 15 名ぐらいずつを予定しているが、各メーカーにも確認を取りたい。

ランチョンセミナーについては、バイオトロニックより連絡が無いため不明。お弁当については至誠堂経由で登利平を予定している。

大会誌も至誠堂へ依頼中。招聘講演の原稿が揃い次第、早急に発行をお願いしたい。

横断幕、垂れ幕についても同様。

血液浄化分野と循環器分野でポイント申請中だが、本日時点では返答無し。

広報委員会：

学術大会の抄録集を作成したい。今年度は総会と学術大会が離れているが、来年度から学術大会と総会を一緒に開催するように戻すか？ただ、場合によっては議案書を見ずに委任状を送付するような状況になりかねない。

今後は、原稿は3月末とし、会計報告が完了次第GW前に印刷を行い、GW明けに発送できる体制を整える。

組織検討委員会：

特になし

学術委員会：

各分野での合同勉強会を企画中。循環器分野は年末に、血液浄化分野は年明けに勉強会を予定している。

安全対策委員会：

5月31日（日）、総会後に合同勉強会を予定。医療ガスについてタイヨード産に講師を依頼した。

循環・呼吸部会：

合同勉強会を年末に予定している。

代謝・保守部会：

年明けの1月か2月で合同勉強会を企画したい。

Y・ボード：

交代要員となる新メンバーを急募。

その他：

前橋赤十字病院の高田理事より、ECMOのマニュアルを出版したので、群馬県内の施設の方には購入を進めたいと意見あり。

学術大会の共催申し込みについて、来週末を最終締め切りとして全理事で未返答の企業へ再度お願いをしてみてもどうか。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 47 回 理事会

平成 27 年 5 月 31 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・大谷・景山・斉藤（勝）・高田・高橋・角田・
中嶋・中西・中野・中山・松本・八木原

部会：曾我部

監事：高橋

委任：石井・斉藤（孝）・中西

議事録

本総会を以て平成 25・26 年度の役員任期が満了したため、平成 27・28 年度の理事・監事の立候補及び推薦者を募ったところ、理事 20 名、監事 2 名の立候補があった。

理事 20 名

- | | |
|--------|-------|
| ・山根雅樹 | ・花田琢磨 |
| ・深町直之 | ・田村守啓 |
| ・谷津隆之 | ・石井健児 |
| ・大谷真弓 | ・影山晃良 |
| ・斉藤孝之 | ・斉藤勝 |
| ・高橋公德 | ・角田卓哉 |
| ・中嶋勉 | ・中野善隆 |
| ・中山雅俊 | ・松本貴明 |
| ・八木原賢一 | ・宮崎郁英 |
| ・神宮宏臣 | ・立崎健一 |

監事 2 名

- | | |
|-------|-------|
| ・高橋芳雄 | ・中西秀雄 |
|-------|-------|

上記 22 名が平成 27・28 年度の役員として総会で承認され、会長に山根氏、副会長に花田氏・深町氏、事務局長に田村氏、会計に谷津氏が選出され、本理事会にて承認された。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 48 回 理事会

平成 27 年 6 月 10 日 (水)

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・石井・大谷・景山・斉藤（考）・斉藤（勝）・
高田・高橋・角田・中嶋・中西・中野・中山・松本・八木原

監事：高橋

委任：

欠席：

議事録

会長報告：

日本高気圧環境・潜水医学会の手伝いについて、新橋病院の田口氏より当会に依頼あり。
高気圧酸素治療装置保有施設名簿がある為、それを元に依頼予定。

新理事紹介について、次回のたよりに写真付きでコメントをお願いしたい。次々期大会
長の公募についても、たよりへ掲載予定。

群馬県臨床検査技師会の定時総会へ招待された。6月13日(土)に出席予定。群腎協第
43回定期総会の来賓出席については、栃木県臨床工学技士会の学術大会での講演もある為、
出席が厳しい状況。代理で出席可能な理事は連絡を。

北関東ハートフォーラムより後援依頼があった。異論なければ承認としたい。

次期大会会場と開催時期については、2016年7月、ビエント高崎・前橋問屋センター会
館・前橋テルサ・高崎ニューサンピア等から決定できればと思う。

事務局報告：

年度も変わり、新入職の方の免許番号の通知が行われたため、新入会希望者の入会届が
多数届いている。順次対応をしていく。

先月末に開催された総会において、出席者が理事含め28名おり、他は委任。

会計報告：

学術大会共催申し込みの入金状況について報告。まだ数社入金が済んでいないところが

ある為、理事からも催促をお願いしたい。

5月に泉工医科工業株式会社より10000円の入金があったが、詳細不明。たよりの広告原稿2回分の入金と思われる。

大会報告：

ポスターデザインが決定した。

今回の参加費については、今後の学術大会や他県で開催されているセミナー等も踏まえ、今までの2000円から3000円に引き上げるべきか。

受付・展示会場の配置、前日準備可能なスタッフ等へ連絡予定。

PC、横断幕等は、次回理事会までに作成予定。

広報委員会：

学術大会の抄録集の不足原稿がある為、揃い次第印刷にかけたい。来週中ごろまでの発送を目指している。

組織検討委員会：

総会終了後に市民公開講座を開催した。集計等の報告は次回理事会にて行う予定。現在申し送り中だが、活動計画案に沿って今後の活動を進めていきたい。

学術委員会：

学術大会のサポートを全般的に行っている。今年度の組閣で、次担当者に申し送りを進めていきたい。

会員に対してのアンケートを予定。学術大会誌の発送に間に合えば、盛り込みたい。今後は、統計学や他職種も学べる勉強会の開催を予定したい。

安全対策委員会：

先日開催した循環・呼吸部会の勉強会報告について。委員会としての引継ぎについても順次行っていく。

循環・呼吸部会：

先ほどの安全対策委員からの報告に出された部会の勉強会報告。今後の勉強会ではポイ

ント取得に向けて早期に内容を決定したい。

代謝・保守部会：

引継ぎについて、順次行っていく。年明けでの勉強会の開催を予定している。

Y・ボード：

引継ぎについて、順次行っていく。第 6 回関東臨床工学会での体験セミナーのお手伝いを、Y・ボードとして行っている。

その他：

学術大会で使用予定のビエント高崎のエクセルホール見取り図について。
ポスターデザインの再確認について。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 49 回 理事会

平成 27 年 7 月 2 日

出席理事：山根・花田・深町・田村・谷津・石井・大谷・景山・斉藤（考）・斉藤（勝）・
高田・高橋・角田・中嶋・中西・中野・中山・松本・八木原

監事：高橋

委任：

欠席：

議事録

会長報告：

学会シーズンでのお忙しいところでの理事会参加、ありがとうございます。

先日の群馬県内での突風により、せせらぎ病院が被災した。技士会としては特に活動していないが、被災状況の確認とお見舞いの電話を入れた。

6 月 13 日（土）、検査技師会の総会に来賓として出席。今後の当会の課題として、勉強会やセミナーに臨床検査技師を講師としてお招きすることも検討。

6 月 14 日（日）、栃木県臨床工学技士会の学術大会に参加。講演を行った。参加規模は約 100 名、展示企業は 7 社であった。

事務局報告：

9 月に開催される第 6 回関東臨床工学会において、関東臨床工学技士協議会代表として正式にパネルディスカッションでの講演が決定した。

会計報告：

学術大会での入金状況の報告。未入金の企業がまだ数社ある。

参加証について、賛助会員の展示スタッフ分については、関東臨床工学会で使用した余りを使用する。

大会報告：

懸垂幕・立て看板等のデザイン、展示ブースの割り振りが決定した。大会前日に準備できるスタッフは、協力をお願いしたい。

スクリーンのプロジェクター・マイクの準備について、関係者に確認。レーザーポインタは当会で準備。サブスライドについては、スクリーンは会長より準備していただき、PCについてはその場の状況で使用するものを検討する。

前日準備は17:30から、当日は8:30より会場へ入場できる。前日は会場設営がメイン。机・椅子等の準備については、当会スタッフで行う。撤収も同様。

入口のモニターにプログラム等を映すことができる。投影内容については、至誠堂へ依頼。

取得可能な認定単位・ポイントについては、ホームページでアナウンスを行う。

準備スタッフの日当について、今後の課題。今回は、参加費免除。

懇親会は会場敷地内にて30名で予定している。

司会者の原稿、PCのサブスライドについて最終確認。

役割分担について、役割を振られていないスタッフは各会場の手伝いとして回る。

大会当日、ECMO マニュアルの販売について、中西監事より再検討の必要があるのではないかと提示あり。

当会としての利益があるのか、会員としての利益があるのかが不透明。

本件について、群馬県内でECMO マニュアルを作成したのが前橋赤十字病院のスタッフであることや、当会理事ということで販売を許可した。しかし、現時点での販売基準が無いことや、本大会にて書籍コーナーを設けていないため、今後の課題として規定を作る必要がある。

本大会では販売は見送り、見本を置いたうえでのアナウンスは許可する事となる。

広報委員会：

大会誌の発送が6月中に完了した。次のたよりの原稿は、8月中旬を締切としたい。その際に、今期の大会報告も掲載予定。

毎回の大会誌の最終ページに会員名を掲載しているが、全国的に見ても掲載と非掲載がまちまち。本件については今後の課題としたい。

組織検討委員会：

総会の際に開催した市民公開講座の会計報告を行った。

学術委員会：

今期の勉強会はまだ開催されていないが、直近の学術大会でのサポートに力を入れていきたい。

これまでのセミナーでの集客状況が少々悪い。理事からもアナウンスをお願いしたい。

学術委員会として使用している PC がそろそろ更新時期を迎えた。購入についての是非を問いたい。本件については異論なく承認される。

安全対策委員会：

現在、勉強会開催に向けてテーマを選定中。良いテーマが見つかるよう努力する。単独もしくは合同開催については未定。

循環・呼吸部会：

循環器部会での勉強会のテーマを検討中。開催は 12 月を予定している。

代謝・保守部会：

来年初頭に勉強会を予定している。会場・講師等はこれから準備を進める。

Y・ボード：

甲信越臨床工学技士会 Y・ボード企画の「尾瀬ハイキング with AED」への参加募集案内が届いた。参加希望者は連絡をお願いしたい。

その他：

来年度学術大会日程について、宮崎大会長より 2016 年 7 月 3 日（日）を予定していると報告あり。

第50回理事会 議事録

出席：山根、花田、深町、谷津、大谷、神宮、高橋公、角田、中嶋、中山、松本、宮崎、八木原、曾我部、中西

委任：田村、石井、影山、斎藤孝、斎藤勝、立崎、中野、高橋芳

会長報告：

9月13日（日）第6回関東臨床工学会開催についてプログラムを配布し案内
11月13日～14日開催予定の日本高気圧環境・潜水医学会についてスタッフの協力依頼。循環・呼吸器部会で開催予定の「心臓超音波の基礎について」の講演を群馬県臨床検査技師会に依頼するが林会長へは文書のほかに電話で直接依頼しておくとのこと。

事務局報告：

別紙資料の通り。補足として、鳥居薬品のたよりの募集要項の修正依頼については広報委員会では対応済。

会計報告：

今回のたよりに会費引き落としの案内を掲載する。賛助会員にも支払いの案内を送付する。学術大会の収支についてはまだ完了していないが、例年よりも費用が抑えられているとのこと。

大会報告：

田村氏・・・別紙資料の通り

宮崎氏・・・平成28年7月10日（日）ビエント高崎にて開催。大会テーマ・プログラムについては検討中。演題募集については次回のたより（新年号）で募集する。

広報委員会：

たより秋号については一部の方から原稿が届いていないが今週中には揃う予定。今月中には発送できる。

組織検討委員会：

第6回市民公開講座の報告をたよりに掲載する。

その他後期の活動として、9月13日（日）に日臨工主催の「第3回災害対策研修会」に大谷氏と宮崎氏が参加予定。その他来年度の市民公開講座を企画中。

学術委員会：

ハンズオンセミナーは好評、業者が実施するハンズオンセミナーに近い内容で企画・立案していきたい。ペースメーカー関連についても検討したい。

12月19日（土）合同勉強会、2月の代謝・保守の勉強会について

安全対策：

2月に代謝・保守部会と合同で勉強会実施予定。

「安全な透析医療」で太田記念病院の斉藤氏が講演予定

循環・呼吸器部会：

12月19日（土）急性冠症候群（ACS）について開催予定。

講師からはステントグラフトや TAVI についての話しが良いのではと提案をいただいたが、若手の技士にもわかる内容としたいので今回は ACS 関連で依頼する。

代謝・保守部会：

2月に安全対策委員会と合同で勉強会を開催予定。

山根氏より、先日の突風被害を受けた、せせらぎ病院の CE に講演を依頼してみてもと提案あり。

Y・ボード：

別紙資料の通り。

中山氏は Y・ボードとなっているが、関東のメーリングリストに登録されていないかも知れないため確認する。（尾瀬ハイキングの案内が届いていなかった）

その他：

監事より、学術大会での収支において会からの持ち出しが少ないということは、決算において流動資産（現・預金）が増えてしまう可能性がある。公益法人化の備えであるとか日本臨床工学会招致のためであれば説明がつくが、そうでないとすれば何の目的なのか明確にしてほしい。

賀詞交歓会について山根氏より、年明けに開催したい。初めてなのであまり大規模にせずに関連団体を招いて開催したらどうか？また組織検討委員会も準備に関わってはどうかと提案あり、今後検討していく。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

平成 27 年度 第 51 回 理事会

平成 27 年 10 月 1 日 (木)

出席理事：山根・花田・田村・大谷・斉藤（孝）・斉藤（勝）・神宮・高橋・中嶋・中山
松本・宮崎・八木原

部会：曾我部

監事：高橋・中西

委任：深町・石井・影山・神宮・立崎・角田

欠席：谷津・中野

議事録

会長報告：

- ・群馬県の血液透析における災害対策 WG 立ち上げについて

群馬県透析懇話会の東邦病院の植木医師より、県内の災害対策 WG の立ち上げを依頼された。その為、本日の理事会での承認を得たい。設立趣意については資料の通り。

先日、県庁医務課の担当者とも面談し、行政との連携も視野に入れている。来年 3 月 6 日に開催予定の群馬県透析懇話会にて、進捗状況を報告する予定。

- ・サーバー管理移行について

現在の当会で使用しているレンタル Web サーバーの管理を株式会社至誠堂へ管理移行したい。容量、料金、管理について、現状よりかなり改善が期待される。10 月 31 日をもって現在使用しているサーバーが契約終了となる為、承認が得られれば今月中旬までに申請を行う必要がある。詳細については資料の通り。

- ・高気圧環境・潜水医学会について

以前より理事へスタッフ参加をお願いしているが、来月 11 月 13 日～15 日の期間、ホテルラシーネ新前橋にて学会が開催される。各日当会よりスタッフ 3 名を選出したい。

- ・義援金について

先日の集中豪雨により、茨城県で 3 つの透析施設が被災した。このような災害時に、会として義援金を出すべきか。本件については、関東臨床工学技士協議会へ投げかけをしたと思う。

・(公社)日本臨床工学技士会より、選挙管理委員選出の依頼

先日、川崎会長より選挙管理委員を群馬県より1名選出してほしいと依頼あり。当会より大谷理事が選出された。

・理事MLについて

現在、理事宛に送付されているメーリングリストに携帯電話、スマートフォン等のアドレスを追加したい場合は、事務局へ連絡をお願いしたい。そこから至誠堂へ依頼予定。

上記内容について、理事・監事より承認された。

事務局報告：

・マイナンバー法人番号の交付について

今月よりマイナンバーの申請が順次始まるが、法人にもマイナンバーが交付される。各都道府県宛に交付日は異なるが、群馬県は10月28日に案内が発送され、10月30日より公開される予定。

・たより発送について

今回のたよりは、株式会社至誠堂より発送された。返却は無かったが、退職者等の連絡が2件あった。

・賛助会員について

バクスターより賛助会員の申請があった。申込書類は送付済み。

・技士会発行の文章管理番号について

先日、12月の当会勉強会の後援依頼を検査技師会宛に行った際、先方より文章の管理番号についての指摘があった。次回以降の作成書類より、文章への管理番号を徹底したい。

会計報告：

特になし。

大会報告：

・講師の講演料について

当会規定により、セミナー等での講師への講演料は規定されているが、講演内容やその

枠により、上限は変えられるのか。理事会にて内容を精査したうえで、再検討したい。
次回新年号のたよりにて演題募集を行う予定。

広報委員会：

たより 9月号の発送が完了した。新年号の詳細についての説明を、11月もしくは12月の理事会で説明したい。

組織検討委員会：

これまでの市民公開講座への参加率等を踏まえ、今年度は賀詞交歓会を開催したい。詳細は資料の通りだが、参加費については5000円が妥当か？
福岡県での開催実例がある為、事務局より確認予定。

学術委員会：

12月に開催予定の勉強会について、ホームページからの申し込みが可能となっている。
参加者を多く集めるため、ご協力をお願いしたい。

安全対策委員会：

来年2月中旬に、代謝・保守部会と合同でセミナーを企画中。斉藤勝理事が講師として務める予定。本内容は新年号のたよりにて案内を掲載予定。

循環・呼吸部会：

特になし。

代謝・保守部会：

2月の安全対策委員会との合同勉強会について、会場を公社総合ビルで予定している。先日の突風被害について、せせらぎ病院の方に講演を依頼予定。

Y・ボード：

9月13日に開催された関東臨床工学会会期中に、関東はちどりネットワーク会議が開催

された。田村、曾我部が参加。次回会議は来年 3 月を予定している。

12 月の勉強会終了後に、忘年会を企画したい。賀詞交歓会の案内送付と同時に行う。

その他：

- ・第 3 回災害対策研修会参加報告

大谷理事、宮崎理事が本会に参加。

- ・当会ホームページへのリンク掲載について

松本理事より、当会ホームページへのリンク掲載依頼あり。理事全員の承認にて、後日掲載予定。

一般社団法人群馬県臨床工学技士会 理事会議事録

第 52 回 理事会

平成 27 年 12 月 2 日

出席理事：山根・深町・田村・谷津・大谷・斉藤（勝）・宮崎・高橋・立崎・中野・中山・
松本・八木原・神宮

部会：曾我部

監事：高橋・中西

委任：花田・石井・影山・斉藤（孝）・角田・中嶋

欠席：

議事録

会長報告：

先月の高気圧環境潜水医学会に参加された皆様、またスタッフ参加していただいた理事の皆様、ありがとうございました。今後もこのような学会でのお手伝いは、会として継続していきたい。

賀詞交歓会や勉強会等の案内が届いていると思われます。理事の皆様は是非参加を。

当会会員の田口彰一様が、先日亡くなられた。通夜、告別式等の日程は出たが、過去の功績も踏まえて技士会として対応したい。訃報などの知らせに対して、今後どのように対応すべきか。検査技師会の会報と同様に、当会たよりに小さく掲載する。

来週、日比谷公会堂にて開催される国民医療を守るための総決起大会に出席予定。

事務局報告：

本日時点での会員数 270 名、賛助会員 39 社。バクスターが賛助会員として正式に加入した。郵送物の住所変更届が無く転居されていたり、施設を移動している会員が最近目立つ。新年号のたよりでも、アナウンスは続けていきたい。年明けに、所属施設宛での会員数実態調査を予定している。

12 月 9 日（水）、東京都日比谷公会堂にて開催予定の国民医療を守るための総決起大会へ会長と出席予定。群馬県のほか、栃木県、神奈川県、茨城県、日本臨床工学技士会からも参加がある。

日本臨床工学技士会より、会の案内用 DVD とリーフレットの申し込みが届いた。リーフレ

ットは上限 200 枚が無償、それ以上は有償となる。また、DVD は 1 枚 500 円。リーフレットは上限数、DVD は予備を見て 2 枚購入予定。

当会の法人番号が届いたが、今後使用する機会がある際は事務局へお声掛けを。

当会ホームページへの勉強会等の案内の掲載について、至誠堂担当者より打診あり。現状、無償の範囲内で掲載を行っているが、掲載数が増えた場合は有償とさせていただきたいと申し出あり。有益な情報掲載のためには必要と思われる。

来年度の理事会、たより等の日程については、現在調整を行っている。1 月の理事会にて再度報告したい。

今月中に、賛助会員、関連団体、全国技士会への年賀状を送付予定。枚数は昨年と同じ 100 ほど購入予定。

会計報告：

今年度の会費徴収作業をそろそろ開始予定。引き落としは例年通り 12 月 27 日を予定している。住所不定等で郵送物が返却されている会員でも、口座情報が変更されていない場合や退会届が提出されていない限りは引き落とし作業を続ける。賛助会員についても同様とする。

大会報告：

大会テーマがまだ決めかねている状態。色々と動けるようなテーマにしたい。また、体験コーナーをより充実させたい。ランチョンセミナーのお弁当については、透析食を予定している。

広報委員会：

たより新年号の原稿をお願いしたい。詳細については資料の通り。締め切りは 12 月 18 日を予定しているが、会計報告と循環器勉強会の報告のみ、今月内とする。

事務局報告に住所所属変更の案内も掲載する。

大会テーマが締め切りまでに決定すれば掲載したい。

新人紹介の返信が今年はゼロだったため、来年こそ掲載をしていきたい。

組織検討委員会：

賀詞交歓会を来年 1 月 16 日（土）に予定。申し込み締め切りは 12 月 20 日とする。

学術委員会：

安全対策委員会：

来年2月14日に代謝保守部会と合同勉強会を予定。理事の斉藤勝氏も講師として参加予定。内容は透析室でのヒヤリハットについて。

循環・呼吸部会：

代謝・保守部会：

来年2月14日に安全対策委員会と合同勉強会を予定。会場は群馬県公社ビル。現時点では、受付12:30～、13:00から開始としたい。参加費は正会員1000円。取得できるポイントについては、現在申請予定となっている。

Y・ボード：

12月のセミナー終了後に忘年会を企画している。申し込みについては、当会ホームページの問い合わせフォームか、セミナー申し込みフォームに忘年会と記載の上、申し込みをお願いしたい。

その他：

災害対策委員会報告：山根氏

前回理事会終了後に委員会会議を開催。株式会社至誠堂へ、災害対策委員用のMLも作成していただいた。地域別連絡網の作成、各地域代表施設等を現在検討中。本日理事会終了後に、会議を予定している。

メンバー変更があり、八木原理事より同施設の岸和田氏へ変更。

11月の高気圧環境潜水医学会について：中山理事

先日開催された高気圧環境潜水医学会に対し、全国から350名の参加が得られた。スタッフとして協力していただいた技士会の皆様、ありがとうございました。

中島理事より電話にて報告

賛助会員数が変わっていないため、今後会員数増を目指してほしい。

12月のセミナーの役割分担を本日の理事会で決めておいていただきたい。

受付は群馬大学の中山氏、PC操作・司会については山根氏と曾我部氏に分担で依頼。その他参加可能な理事は当日お手伝いをお願いしたい。

会計担当に関して：山根氏

現在、石井理事・影山理事が会計担当者となっているが、今後引継ぎも兼ねた検討が必要か。